

●上巻 表番号46 (1/3)

平成11年 患者調査 平成11年9月

上巻第46表 推計退院患者数；在院期間—中央値×傷病分類×病院—一般診療所別

注： 在院期間を細分化したものは、閲覧第67表

千人、日

	【誤】 中央値	【正】 中央値
総数		
総数	10	10
I 感染症及び寄生虫症	8	7
腸管感染症（再掲）	5	5
結核（再掲）	62	62
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患（再掲）	8	8
真菌症（再掲）	20	20
II 新生物	16	16
（悪性新生物）（再掲）	24	24
胃の悪性新生物（再掲）	30	30
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	25	25
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	27	27
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13	13
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	20	19
甲状腺障害（再掲）	14	14
糖尿病（再掲）	22	22
V 精神及び行動の障害	40	40
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害（再掲）	75	74
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	38	38
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	10	10
VI 神経系の疾患	13	13
VII 眼及び付属器の疾患	6	6
白内障（再掲）	6	6
VIII 耳及び乳様突起の疾患	10	10
IX 循環器系の疾患	16	16
高血圧性疾患（再掲）	14	14
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	10	10
虚血性心疾患（再掲）	7	7
脳血管疾患（再掲）	30	29
X 呼吸器系の疾患	9	9
急性上気道感染症（再掲）	5	5
肺炎（再掲）	14	14
急性気管支炎及び急性細気管支炎（再掲）	6	6
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患（再掲）	14	14
喘息（再掲）	6	6
X I 消化器系の疾患	11	11
う蝕（再掲）	5	5
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	5	5
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍（再掲）	15	15
胃炎及び十二指腸炎（再掲）	7	7
肝疾患（再掲）	21	21
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10	10
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	24	24
炎症性多発性関節障害（再掲）	28	27
関節症（再掲）	43	43
脊柱障害（再掲）	23	23
骨の密度及び構造の障害（再掲）	30	30
X IV 泌尿器系の疾患	8	8
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全（再掲）	15	14
前立腺肥大（症）（再掲）	14	14
乳房及び女性性器の疾患（再掲）	6	6
X V 妊娠、分娩及び産じょく	6	6
妊娠中毒症（再掲）	9	9
X VI 周産期に発生した病態	6	6
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	10	9
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7	7
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	14	14
骨折（再掲）	26	26
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5	5
歯の補てつ（再掲）	4	4

●上巻 表番号46 (2/3)

平成11年 患者調査 平成11年9月

上巻第46表 推計退院患者数；在院期間—中央値×傷病分類×病院—一般診療所別

注： 在院期間を細分化したものは、閲覧第67表

千人、日

	【誤】 中央値	【正】 中央値
病院		
総数	11	11
I 感染症及び寄生虫症	8	8
腸管感染症（再掲）	5	5
結核（再掲）	62	62
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患（再掲）	8	8
真菌症（再掲）	21	21
II 新生物	16	16
（悪性新生物）（再掲）	24	24
胃の悪性新生物（再掲）	30	30
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	26	26
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	27	27
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	14	14
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	20	20
甲状腺障害（再掲）	14	14
糖尿病（再掲）	22	22
V 精神及び行動の障害	44	43
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害（再掲）	77	77
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	41	41
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	10	10
VI 神経系の疾患	13	13
VII 眼及び付属器の疾患	8	7
白内障（再掲）	7	7
VIII 耳及び乳様突起の疾患	10	10
IX 循環器系の疾患	16	16
高血圧性疾患（再掲）	15	15
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	10	10
虚血性心疾患（再掲）	7	7
脳血管疾患（再掲）	30	30
X 呼吸器系の疾患	9	9
急性上気道感染症（再掲）	5	5
肺炎（再掲）	14	14
急性気管支炎及び急性細気管支炎（再掲）	6	6
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患（再掲）	14	13
喘息（再掲）	6	6
X I 消化器系の疾患	11	11
う蝕（再掲）	4	4
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	5	5
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍（再掲）	15	15
胃炎及び十二指腸炎（再掲）	7	7
肝疾患（再掲）	21	21
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	10	10
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	23	23
炎症性多発性関節障害（再掲）	26	26
関節症（再掲）	45	45
脊柱障害（再掲）	23	23
骨の密度及び構造の障害（再掲）	30	30
X IV 泌尿器系の疾患	8	8
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全（再掲）	15	15
前立腺肥大（症）（再掲）	14	14
乳房及び女性性器の疾患（再掲）	6	6
X V 妊娠、分娩及び産じょく	6	6
妊娠中毒症（再掲）	10	10
X VI 周産期に発生した病態	7	7
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	10	10
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7	7
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	14	14
骨折（再掲）	26	26
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4	4
歯の補てつ（再掲）	4	4

●上巻 表番号46 (3/3)

平成11年 患者調査 平成11年9月

上巻第46表 推計退院患者数；在院期間—中央値×傷病分類×病院—一般診療所別

注： 在院期間を細分化したものは、閲覧第67表

千人、日

	【誤】 中央値	【正】 中央値
一般診療所		
総数	6	6
I 感染症及び寄生虫症	7	7
腸管感染症（再掲）	5	5
結核（再掲）	114	114
皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患（再掲）	12	12
真菌症（再掲）	7	7
II 新生物	5	5
（悪性新生物）（再掲）	13	13
胃の悪性新生物（再掲）	15	15
結腸及び直腸の悪性新生物（再掲）	5	5
気管、気管支及び肺の悪性新生物（再掲）	120	120
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	17	17
甲状腺障害（再掲）	11	11
糖尿病（再掲）	20	20
V 精神及び行動の障害	7	7
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害（再掲）	6	6
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	15	15
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	13	13
VI 神経系の疾患	12	12
VII 眼及び付属器の疾患	2	2
白内障（再掲）	2	2
VIII 耳及び乳様突起の疾患	10	10
IX 循環器系の疾患	13	13
高血圧性疾患（再掲）	11	11
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	18	18
虚血性心疾患（再掲）	10	10
脳血管疾患（再掲）	22	22
X 呼吸器系の疾患	10	10
急性上気道感染症（再掲）	5	5
肺炎（再掲）	14	14
急性気管支炎及び急性細気管支炎（再掲）	8	8
気管支炎及び慢性閉塞性肺疾患（再掲）	25	25
喘息（再掲）	10	10
X I 消化器系の疾患	12	12
う蝕（再掲）	22	22
歯肉炎及び歯周疾患（再掲）	-	-
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍（再掲）	23	23
胃炎及び十二指腸炎（再掲）	8	7
肝疾患（再掲）	28	28
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	9	9
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	26	26
炎症性多発性関節障害（再掲）	37	37
関節症（再掲）	25	25
脊柱障害（再掲）	28	28
骨の密度及び構造の障害（再掲）	33	33
X IV 泌尿器系の疾患	7	7
糸球体疾患、腎尿細管間質性疾患及び腎不全（再掲）	8	8
前立腺肥大（症）（再掲）	14	14
乳房及び女性性器の疾患（再掲）	6	6
X V 妊娠、分娩及び産じょく	6	6
妊娠中毒症（再掲）	7	7
X VI 周産期に発生した病態	6	6
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	2	2
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6	6
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	22	22
骨折（再掲）	31	31
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5	5
歯の補てつ（再掲）	-	-